



▲ペットボトルとふたを分別する子どもたち

30人分のそうめん あつという間

親子で流しそうめん

7月4日(水)、登別子育て支援センターで『親子で流しそうめん』(市主催)が行われ、30組の親子が夏の風物詩を楽しみました。

5本の雨どいをつなげて作られた、全長約8メートルの流しそうめん台に、そうめんが流されると、子どもたちから「わーっ」と歓声が上がりました。

子どもたちは、流れてくるそうめんを慣れない箸やフォークを使って一生懸命すくい取りながら、口いっぱいにはおぼっていました。30人分用意されたそうめんは、約10分で完食され、子どもたちのお腹を満たしました。

7/4



▲すくったそうめんをほおぼる子どもたち

遊びをとおして リサイクル体験

リサイクルまつり12イン登別・白老

7月8日(日)、クリンクルセンターで『リサイクルまつり12イン登別・白老』(登別市・白老町主催)が行われ、市民など約2千人が来場し、にぎわいました。

今年もたい肥がもらえる『クリンクルスタンプラリー』は好評で、開始前から長い行列会場には、太陽光発電システムや風力発電装置が展示され、見学者は自然エネルギーへの理解を深めていました。

また、ペットボトルを使った『釣り大会』や『風車工作教室』などに参加した子どもたちは、楽しみながらエコ体験をしていました。

7/8

大泉洋さん主演ドラマを 登別で撮影

連続ドラマ『プラチナタウン』撮影

7月1日(日)～4日(水)、市内でWOWOW(BS)の連続ドラマ『プラチナタウン』の撮影が行われ、北海道出身の俳優・大泉洋さんのほか、壇れいさん、平山浩行さんなどの出演者が撮影に臨みました。

このドラマは、大泉さん演じる主人公が、働いていた商社を辞め、財政危機の故郷『緑原町』の町長に立候補し、当選後は、高齢者施設に大型商業施設などの施設を併設する『巨大老人テーマパーク』の建設に奔走する姿を描くものです。

撮影地となった登別温泉やカルルス温泉、JR登別駅、登別マリナーパーク、日本工学院北海道専門学校などでは、市民130人がエキストラとして出演し、緊張した面持ちで撮影に参加していました。

ドラマは、8月19日(日)～9月16日(日)の毎週日曜日22時から放送されます。

7/1～4



▲(上)撮影に臨む大泉洋さん(左)と平山浩之さん